

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費
 - (1) 知的交流小規模助成
 - (2) 教育アウトリーチ支援小規模助成
 - (3) 地域・草の根交流小規模助成
 - (4) 日米協会支援

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (1) 知的交流小規模助成

米国内の新たなニーズに対応した先駆的事业や、米国内の大学・シンクタンク・政府・財団関係のアジェンダ・セッティングやネットワーク会合などに機動的に対応し、通常の助成事業の企画開発へとつなげていくために小規模の助成を実施。

合計額 9,679,303 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	グローバル・レジリエンス・イニシアティブ・イン・アジア：流行性インフルエンザをケース・スタディとして	東西センター	2010.07.01 ~ 2010.10.31	鳥インフルエンザをケース・スタディとしつつ、あらゆる災害リスクに適用可能な「事前の」リスクマネジメントの在り方についてレジリエンス（抵抗力）の考え方を基本に据えつつ検証。2日間（2010.08.11-12）、ハワイの東西センターにて清水美香（東西センター客員研究員）及びCLARK, Allen（同主席研究員）によるワークショップを実施
2	全米アジア研究プログラム：西海岸シンポジウム	全米アジア研究所	2010.09.01 ~ 2010.11.30	アジア関係政策研究の重要性の再確認、及び学术界と政策コミュニティの相互作用を高めることを目的とする向こう3年間の事業「NARP（National Asia Research Program）」の一環として西海岸での会議（2010.10）を実施
3	アジア各都市における都市環境一東・東南アジア各国における気候変動緩和のための都市建築政策	コーネル大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。急速に都市化が進むアジア地域において、政治経済学的見地から気候変動等環境問題をいかにして軽減しうるかにつき議論
4	日本における、経済危機への対応と改革の政治学	コロンビア大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。2008年の世界経済危機が、バブル崩壊後の長期低迷に喘ぐ日本の政策にどのような変化をもたらし、それが他国の政策にどのような示唆を与えるかを検証
5	アジアにおける教育革新—民間セクターの成長、政府の改革とベスト・プラクティスの伸張	デュポール大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。アジア各国の教育政策と実行における革新的アプローチについての政策対話
6	日本の対高齢化政策—社会・国民に対するインパクト	ノースカロライナ農業技術州立大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。世界に類を見ない速さで進む高齢化社会を抱える日本の、対高齢化政策について検証
7	荒廃からの復興：アジア地域における災害後の復興について	パーデュー大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。世界各地で大規模な災害が発生する中、災害後の復興をより効率的・効果的に行う方法について社会科学的見地から議論
8	現代日本の社会的・人口動態的变化とそれへの政策対応	バード・カレッジ	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。社会経済的・人口動態的に変化の時代を迎えている日本について、少子・高齢化問題、ホームレスの問題などに対する政策の有効性を検証
9	移行期の日本政治	バルーク・カレッジ	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。2009年の民主党の勝利が日本政治にもたらした地殻変動と、歴史的背景を検証

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
10	東アジア地域における安全保障と地域構造の制度化について	南カリフォルニア大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会(2011.03)におけるパネル会議の一つとして実施。中国の台頭に伴う東アジアのパワーバランス・地域構造の変化と今後について、ASEAN、日米同盟、ロシアの役割等に注目しつつ議論
11	不景気の時代における市民権の確立ー日本における市民、国家、経済危機	ジョンズホプキンス大学	2010.12.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会(2011.03)におけるパネル会議の一つとして実施。不景気の中で、いかに市民権、市民としての意識が確立・再確立されていくかについて日本を例として検証
12	徒歩通学：日米における政策の相違点	バージニア大学	2011.01.01 ~ 2011.05.31	子供の通学方法に関し、昨今日米で逆の現象(日本：徒歩通学から「通学バス」へ/米国：家族による送迎から徒歩・自転車での通学へ)が起こりつつあることに着目し、双方が過去の経験から学び合い、よりよい政策に結び付けるための意見交換を、日本で実施

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (2) 教育アウトリーチ支援小規模助成

米国内で開催される日本理解に資する教育アウトリーチ事業(日本講座や教育向けセミナー等)に対し、小規模の助成を実施。

合計額 8,541,216 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本の映画音楽とアニメ主題曲の紹介	オーケストラ・インソニカ	2010.05.01 ~ 2010.05.31	米国で活躍する日本人指揮者の久保田昌一が、米国の高校生によるオーケストラで日本の映画音楽とアニメ主題曲の演奏会を開催する事業。プロジェクトを通じて、米国の高校生は日本の文化や社会についても併せて学習
2	シェア・ザ・ワールド・イン・ニューヨーク	ジャパNDER	2010.05.01 ~ 2010.06.30	日本を代表するジャズ奏者である渡辺貞夫が、ジャパNDERでニューヨーク周辺の児童合唱団や児童演奏団とセッションを行うプロジェクト。同氏とのセッションを通じて、参加した子供たちが日本のジャズに触れるとともに日本文化理解を深める企画
3	侍と着物：日本文化サマーキャンプ	文化人類学博物館	2010.06.01 ~ 2010.07.31	ウェイク・フォレスト大学附属文化人類学博物館が、侍と着物をテーマに周辺の児童・生徒を対象に日本文化を紹介する3週間のサマーキャンプを実地。子供達は、サマーキャンプ期間中、着付け、剣道、折り紙などを体験し、また日本の文化・社会に関する講義を受講
4	クリエイティブ・リソース上での日本美術公開プロジェクト	デンバー美術館	2010.06.01 ~ 2011.05.31	同美術館が運営するクリエイティビティ・リソース・ウェブサイト上で、所蔵する日本美術作品(仏像や茶器、硯箱など)12点を紹介するプロジェクト。単に日本の美術作品を紹介するのみならず、この作品を通じて、児童・生徒が日本の文化や社会を理解できるように教材・カリキュラムを開発する。また、周辺地域200名の教師を対象とした教授法ワークショップも開催
5	ミドルトン・コミュニティ折り紙壁画プロジェクト	ミドルトン公立図書館友の会	2010.07.01 ~ 2011.01.31	折り紙専門家、ミドルトン公立図書館において、児童・生徒・一般を対象に、20回に渡る折紙ワークショップを実地。最終的には、ワークショップを通じて制作された折り紙作品を利用し、ミドルトン公立図書館に折り紙の壁画を設置するプロジェクト

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
6	ユース・プログラム	一戸小枝子ダンス・カンパニー	2010.08.01 ~ 2010.08.31	一戸小枝子ダンス・カンパニーが、ニューヨークのNGOユナイテッド・ネイバーフッド・ハウスの協力を得て、ニューヨーク周辺の6つの公立学校や青少年団体で、ダンス公演と日本文化に関するワークショップを開催。併せて日本の伝統舞踊や日本の遊びについてもワークショップを実施
7	ジャパン・イン・ザ・クラスルーム：セント・ルイス教師研修プロジェクト	国際教育推進協議会コンソーシアム	2010.08.01 ~ 2011.05.31	セント・ルイスの教師を対象に、日本に関する教授法トレーニング・ワークショップを4回に分けて開催。約100名の教師が参加したワークショップでは、それぞれ日本映画、日本の漫画・アニメ、現代日本人のライフ・スタイルなどのテーマが取り上げられ、参加教師が生徒の関心をひきつけながら親しみやすく日本についての授業を行なう工夫を紹介
8	祝日本：スクール・デイとファミリー・フェスティバル	メンフィス熱帯植物園	2010.09.01 ~ 2010.09.30	メンフィス熱帯植物園において、日本フェスティバルを開催（2010.09.10-11）し、それにあわせて児童・生徒向けのイベントやファミリー・フェスティバルを行うプロジェクト。生花インターナショナルバンブー支部開設50周年にあわせて日本庭園に生花インスタレーションを行なった他、日本の伝統芸能公演、茶道、折り紙や紙芝居のデモンストレーション、日本食の試食なども実施
9	日本フェスティバル	サギノー日本文化センター	2010.09.01 ~ 2010.10.31	サギノー日本文化センターの茶室及び日本庭園を使って、半日間の日本フェスティバルを開催（2010.09.19）。フェスティバルでは、和太鼓、邦楽、日本舞踊、剣道などのパフォーマンスを行うと共に、茶道のデモンストレーションや折り紙、書道、生花などのワークショップを実施
10	日本の口承芸能：落語と活弁	フィンドレー大学	2010.09.01 ~ 2010.10.31	ウェスト・ミシガン及びオハイオの大学や高校において、日本の口承芸能を紹介するため、落語と活弁のレクチャー・デモンストレーションを実施（2010.09.26）。参加者は、落語と活弁の観覧他、ワークショップ参加を通じて実際に体験
11	アジア探求：今日のアートと日本—奈良美智と漫画に関する教育プログラム	アジアソサエティー	2010.09.01 ~ 2011.01.31	アジア・ソサエティにおいて、奈良美智の展覧会を開催するのに併せて、ニューヨーク周辺の学校児童を対象に教育ワークショップを開催する。また、同時期に開催されるニューヨーク子供映画祭の日本アニメ上映会で漫画ワークショップを開催
12	ピッツバーグ太鼓	ペンシルベニア日米協会	2010.10.01 ~ 2011.03.31	ピッツバーグ太鼓が現地の学校で、児童・生徒向けにワークショップ及び公演を行なうプロジェクト。ワークショップでは、プラスチック製のバケツなど日用品を使った太鼓作りからはじめ、本格的な太鼓演奏技法を伝えることで、各校が持続的に和太鼓サークルを運営できるようにサポート
13	日本の文化・芸術教育プロジェクト	マーキース・スタジオ	2010.12.01 ~ 2011.03.31	ニューヨークのスタッテン島の学校を対象に、日本理解のためのワークショップを10回シリーズで開催する。プログラムは、和太鼓演奏の理論と実践を中心とし、折り紙や文楽、日本語なども加える。プロジェクトの最後には、生徒達による和太鼓セッションと折り紙作品の展示会を開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	わら紙による照明インスタレーション	ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン	2010.12.01 ~ 2011.03.31	日本人建築家アキ・イシダが、ロードアイランド・スクール・オブ・デザインの学生と共に、わら紙を使った照明家具を設計・製作するプロジェクト。プロジェクトを通じて、学生達は、わら紙の特性のみならず、日本的な照明や空間設計についても学ぶ。プロジェクトの成果は、ジャパン・ソサエティが開催するJ-cationというイベントの際にインスタレーション作品として展示
15	日本の肖像：教師トレーニング・プログラム	ワールド・アフェアーズ・カウンセラー・オブ・ダラス/フォートワース	2011.01.01 ~ 2011.01.31	ダラス・フォートワース周辺の学校で日本についての理解教育を行っている50名の教師を対象としたトレーニング・プログラムを開催。特に、恵まれない地域の学校を優先。プログラムでは、日本の歴史と文化に対する理解を深めるため、8時間にわたるレクチャーを実施
16	アクセス・トゥ・ジャパン	テキサス大学サンアントニオ校東アジア研究所	2011.01.01 ~ 2011.02.28	テキサス文化インスティテュートで「世界遺産写真展」が開催されるのに併せて、現地の児童・生徒を対象に、総合的な日本文化紹介イベントを開催。プロジェクトは、禅に関する講演会と、半日間のファミリーデーからなり、ファミリーデーでは、周辺の学校の児童・生徒・父兄を対象に、日本語入門、書道、茶道、和紙人形の制作、墨絵、童謡、ポップカルチャーなどの多様な日本文化に触れる機会を提供
17	パシフィック・ハーモニー	ホノルル・フェスティバル財団	2011.01.01 ~ 2011.04.30	第17回ホノルルフェスティバルに、日本のアイヌ、アラスカのネイティブ・アメリカン、オーストラリアのアボリジニーを招き、ハワイ先住民との交流事業を開催。それぞれ伝統芸能・工芸・アートなどの共有を通じて相互理解を深める事業
18	オレゴン州農村地域におけるレジデンス・プログラム	ポートランド太鼓	2011.01.01 ~ 2011.12.31	米国を代表する和太鼓グループの一つであるポートランド太鼓が、日本文化に触れる機会の少ないオレゴン州の農村コミュニティを4つ選び、各地で、滞在型のワークショップを開催する。ワークショップでは、和太鼓の演奏技法のみならず、日本の文化社会についても総合的に紹介
19	記憶・収集：ロジャー下村と日系人収容所	ローレンス芸術センター	2011.02.01 ~ 2011.03.31	日系人アーティストであるロジャー下村の展覧会を同センターで開催するのに併せて、日系人収容キャンプでの生活やアメリカにおける日系移民の歴史についてのレクチャーを行う。関連企画として、8週間にわたる日本の木版画コースを開設し、さらに、日本映画の上映会も開催して総合的な日本理解を促進
20	文楽を通じた日本理解	ウェイク・フォレスト大学東アジア言語文化学部	2011.03.01 ~ 2011.03.31	ウェイク・フォレスト大学が、コミュニティ・レベルでのアジア理解促進を目的にアジア春祭りを開催するのに併せて、米国在住のグループである文楽ベイを招待し、一般向けの公演を行うと共に、近隣の児童・生徒を対象に、レクチャー・デモンストレーションを実施する事業
21	実践漫画教室	ウェスタン・ミシガン大学	2011.03.01 ~ 2011.03.31	日本のデジタル漫画制作ユニット木ノ花さくやをウェスト・ミシガンに招き、ウェスト・ミシガン大学や現地のコミュニティで1週間にわたり漫画制作ワークショップを開催。ワークショップは、大学のみならず、現地の小学校や公立図書館、アート・インスティテュートなどの会場で開催され、児童・生徒からシニア世代に至るまでコミュニティの幅広い層が対象

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	折り紙を通じた日本文化・社会の理解	エロン大学	2011.03.01 ~ 2011.03.31	K-12のチャータースクールにて、25名の先生を対象に、折り紙を通じて、日本の文化と歴史を教える教授法のワークショップを開催。教授法を学んだ教師達は、父兄・生徒との交流日に、ワークショップで学んだ教授法を使って折り紙ワークショップを開催
23	春祭り	北東部日本語教師会	2011.03.01 ~ 2011.03.31	ニューヨークの国連インターナショナル・スクールを会場に、北東部日本語教師会主催により、春祭りを開催する。春祭りには、周辺の学校で日本語を学んでいる児童・生徒約450名が参加し、日本の伝統芸能や武道のデモンストレーションを鑑賞すると共に、書道、生花、着物着付け、和食などの日本文化を総合的に体験
24	日本へのパスポート	ワン・トゥ・ワールド	2011.03.01 ~ 2011.03.31	ニューヨークの日本人留学生をボランティアとして、ニューヨーク周辺の恵まれない地域の学校に派遣し、日本の文化、歴史、地理について教える機会を設けるプロジェクト
25	玉川大学太鼓&ダンス・ツアー	フィラデルフィア日米協会	2011.03.01 ~ 2011.06.30	フィラデルフィア日米協会が主催するスバル桜祭りの開催に合わせて玉川大学太鼓&ダンス・グループを招き、ワークショップと公演を行う事業。グループは、桜祭りで公演すると共に、周辺の大学・高校でワークショップを開催し、現地の生徒・学生と交流

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (3) 地域・草の根交流小規模助成

米国内で開催される日米間の地域・草の根レベルでの交流事業に対し、小規模の助成を実施。

合計額 2,701,793 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	日米両国における海洋環境保護促進	ハーバード・メディカル・スクール保健・地球環境センター	2010.04.01 ~ 2011.09.30	ハーバード・メディカル・スクール保健・地球環境センターが、海洋環境保護をテーマに、日米両国の高校生を対象としたワークショップを開催し、最終的にその成果を映像作品化しようというプロジェクト。日本の地球映像ネットワークが協力
2	「生存者の叡智」会議	ニューヨーク市立大学ジョン・ジェイ・カレッジ テロリズム・センター	2010.05.01 ~ 2010.05.31	ニューヨーク市立大学テロリズム・センターが、国連で核不拡散条約定期レビュー会合の開催に合わせて会議を開催。会議では、広島・長崎の被爆者と9.11同時多発テロの生存者が出席し、それぞれの体験を共有し、原爆やテロの悲惨さをいかに次世代に継承していくかについて議論
3	威臨丸シンポジウム：日米関係の将来	北カリフォルニア日本協会	2010.05.01 ~ 2010.12.31	威臨丸来航150周年事業の一環として、日米関係の将来をテーマにしたシンポジウムを開催。シンポジウムでは、日米両国における社会企業や社会的投資をテーマとして取り上げ、日本からパネリストとしてソーシャル・ベンチャー・パートナーズ東京代表の井上英之が参加し、日本の現状を紹介

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
4	革新的フィランソロピー教育モデルの共有：コモン・センツ設立者を招いた日本ラウンドテーブル	日本国際交流センター（米国）	2011.03.15 ～ 2011.04.30	ペニー・ハーベストという児童向けのフィランソロピー活動教育・促進プログラムを立ち上げた、米国NGOコモン・センツ代表ティディ・グロス(Teddy Gross)を日本に招き、関係団体との対話・交流を行なうことにより、日本における同プログラム推進の可能性を検討するプロジェクト。日本フィランソロピー協会が受入団体

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (4) 日米協会支援

日米における日米協会のネットワーク化とキャパシティ・ビルディングを図り、日米間の地域・草の根交流の担い手としての日米協会を育成するために支援を実施。

合計額 8,429,775 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	2010 CGP・NAJAS日米協会支援ワークショップ	全米日米協会連合（NAJAS）	2010.05.01 ～ 2010.09.30	全米日米協会連合の年次総会開催時（2010.08）に日米協会関係者が集う機会を利用して、常勤職員が2名に満たない程度の小規模の日米協会を対象に、組織基盤強化（マネジメント・スキル、ファンドレージング等）のための研修会を開催
2	事業開発ディレクター確保を通じたキャパシティ・ビルディング（3年事業の2年目）	ジョージア日米協会	2010.07.01 ～ 2011.06.30	事業開発ディレクターを新規に採用することで、キャパシティ・ビルディングの強化を図るプロジェクト。同協会が位置するアトランタ市以外のジョージア州広域に事業を展開し、会員と収入の拡大を目指して活動
3	地域アウトリーチ及び活動センター設立を通じたキャパシティ・ビルディング（3年間事業の3年目）	テネシー日米協会	2010.07.01 ～ 2011.06.30	テネシー日米協会の活動を広域化するため、協会本部のあるナッシュビル以外の都市に、新たに活動拠点を設立するプロジェクト。3年目は、メンフィス支部の活動を安定化させると共に、ナッシュビル本部の基盤強化を実施
4	キャパシティ・ビルディング（2年事業の2年目）	ウェスト・ミシガン日米協会	2010.09.01 ～ 2011.08.31	非常勤事務局長を常勤化して経営基盤の安定を図るプロジェクト。プログラム対象地域を広域化すると共に、文化・教育・娯楽・ビジネス向けのそれぞれのプログラムの拡充を実施
5	会員拡大及びマーケティングキャンペーン（2年事業の2年目）	ダラス・フォートワース日米協会（テキサス州）	2010.09.01 ～ 2011.08.31	アシスタント・ディレクター1名の体制から、常勤のプログラム・ディレクターと非常勤の事務アシスタントを雇用して会員拡大やマーケティングキャンペーンを実施するプロジェクト。2年目は、会員拡大に向けたプログラム開発を実施
6	TRIAJE：日本語教育アウトリーチ・イニシアティブ（3年事業の3年目）	ペンシルバニア日米協会	2010.09.01 ～ 2011.08.31	日本語弁論大会やジャパン・イン・スクール・プログラムなどのプログラムを強化するための専属コーディネーターを雇用し、活動する事業。3年目は、サステナビリティの確保を目指すと共に、メンバーシップ拡大に向けて重点的に活動

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
7	ケンタロウがワシントン州へ行く（2年事業の2年目）	ワシントン州日米協会	2010. 10. 01 ～ 2011. 09. 30	「ケンタロウ」、「ハナコ」などの親しみやすいキャラクターを用い、日本の子供たちの日常生活を米国の学校で紹介する教育プログラム「ジャパン・イン・スクール」を通じて、アウトリーチ活動の強化とキャパシティ・ビルディングを目指すプロジェクト。常勤プログラム・コーディネーターを雇用し、2年目は、特に州南部でのプログラム展開を強化